

令和4年度アンケート（抜粋）

1 今回の研修は有益でしたか。

- 様々な分野の専門家が、難しい内容をわかりやすく教えてくれました。
- 原爆の危険性、人間に及ぼす影響を知ることができて良かったです。
- 広島について話を聞き、教育を受けたが、実際に被害者の生々しい話を伺い、被爆の痕跡を直接見て、現場で行政や診療および研究に携わる人による講義を受講させていただきました。おかげで原爆の惨状が胸深く迫ってきて、より真摯で興味をそそられる時間となりました。

2. この研修で得た知識、または技術を実際にどのように利用するつもりか説明してください。

- 放射線障害についてより広範囲で理解できるようになった。これからは放射線障害に関係する災害に戸惑うことなく対応できると思います。
- 放射線被曝への対応システムや被曝の影響などの知識を活用し、韓国国内における放射線緊急対応システムや実際の対応に繋げ、効果的な対応をして行けるよう努力したいです。
- 救急治療室職員、放射線緊急診療の要員として、同じ業務に携わる同僚たちに、装備、薬品、自分たちの業務に対する重要性を伝えられるような機会を作る予定です。
- 研修で学んだことを同僚に伝え、放射線の影響を受けた患者のケアに貢献することに加え、自国で研究できる可能性のあるトピックを提案したいと思っています。
- 今回学んだ内容を整理し、さらに勉強を深め、放射線緊急診療センター内の他の要員たちに教育を実施する計画です。また原子力発電所と隣接した地域の人や学生たちへの教育を受け持つこともあるので、その際にも今回学んだ内容を伝えようと思います。

3. HICAREの事業をより改善するために、今回の研修に関するあなたのご意見をお聞かせください。カリキュラムや期間、その他について。

- プログラムは良く練られており、放射線障害の様々な側面をカバーしていました。
- 放射線障害について、対処と治療、具体的な方法等をもう少し学びたいです。

4. 広島での滞在について

(1) 広島での生活にどのような印象を持たれたか教えてください。

- 広島の美しい風景とおいしい食べ物、そして親切な人々が本当に良かったです。
- 被爆者に関心を持ち、市の政策としても位置付けられている様子が印象深かったです。
- 複雑な大都市でもなく、便利さに劣る田舎でもなくて、観光地ではないより実際の日本を垣間見ることができました。
- 来広前は、これといった知識がなく、さしたる印象のない地でしたが、短期間ながら広島について多くのことを教えてもらい、広島はとても美しい街と感じるようになりました。
- 広島独特の食べ物、特に好み焼きを作って食べたことは、とても素晴らしい経験だった。
- 人々は強く、時間の経過とともに立ち直る回復力を持っていると感じました。

(2) 広島での滞在中、日常生活で不便を感じたことがあれば教えてください。

- 準備をしっかり整えてくれていたので、滞在期間中に不便を感じることはなかったです。
- 食事について、厳格なベジタリアンでグルテンアレルギーの身には選択肢が少なく感じました。
- 予想していたよりもっと英語が通じず、少し不便でした。

5. 研修を終えて感じたこと

- 外国から来た初対面の医者たちに熱心に講義して下さった先生方に、深く感謝します。
- 忘れられない貴重な体験をしました。どうもありがとうございます。